

第2期 日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 進捗状況について

令和4年度 日立市地域創生事業評価会議
市長公室 地域創生推進課

第2期 日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

人口減少を始めとした様々な課題を克服し、将来にわたって活力あるまちづくりを推進するため、平成27年12月に「日立市人口ビジョン」及び「第1期日立まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：平成27年度～令和元年度）を策定した。

それにより、子育て世帯の減少率が縮小される効果があったが、若者の転出超過や出生率の低下が続くなど、依然として厳しい状況であったことから、「日立市人口ビジョン」を改訂するとともに、令和2年度から令和6年度までの5年間で重点的に取り組む目標、施策の基本的方向等を取りまとめ「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定した。

日立市人口ビジョン

2040年（令和22年）人口14万人維持

必要な施策の体系

第2期日立市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期 日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針

1 「選択と集中」と「継続を力にする」

- ・ 「しごと」、「住まい」に関する施策に重点的に取り組む。
- ・ 第1期で重点を置いた「子育て支援」や、「ひと」と「しごと」の好循環を支える「まちの魅力」を高める施策に継続的に取り組む。

2 「ひたらしさ」を駆使した多極的な展開

- ・ 日立市固有の文化・伝統・産業、特色ある施策などの「ひたらしさ」を駆使しながら、相乗効果を発揮していく。

人口減少克服と地方創生の実現に向けた視点

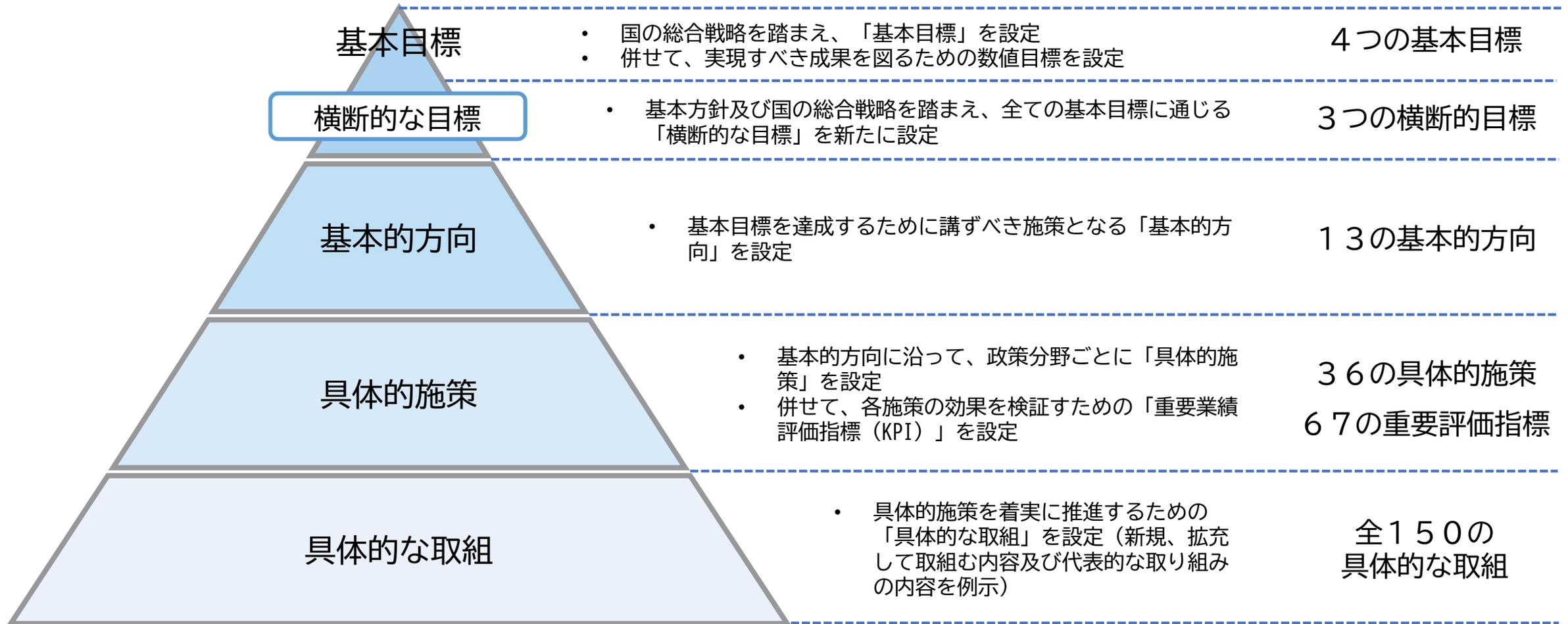
- ① **社会減対策**
(しごと、住まい、まちの魅力)
- ② **自然減対策**
(子育て支援)



**「ひたらしさ」を駆使した
多極的な取組**

(掘り起こし・磨き上げ・活用・戦略的PR等)

基本方針に基づく施策の体系



基本目標と横断的な目標

基本目標

1	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする <ul style="list-style-type: none">将来に向けて安定的な「雇用の量」の確保・創出と、働きやすさ・やりがい・処遇などでの「雇用の質」の確保・向上を目指します。
2	新しい人の流れをつくる <ul style="list-style-type: none">魅力的な住環境の確保等を図り、子育て世代等の若者の転入促進・転出抑制を目指します。
3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる <ul style="list-style-type: none">子育て支援の更なる充実や、安心して子育てができる環境づくりなどを推進し、子育て世代の定着を目指します。
4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる <ul style="list-style-type: none">安全・安心で、持続可能なまちづくりを推進し、若者等のひとが集まり、定着につながるよう、まち全体の魅力向上を目指します。

横断的な目標

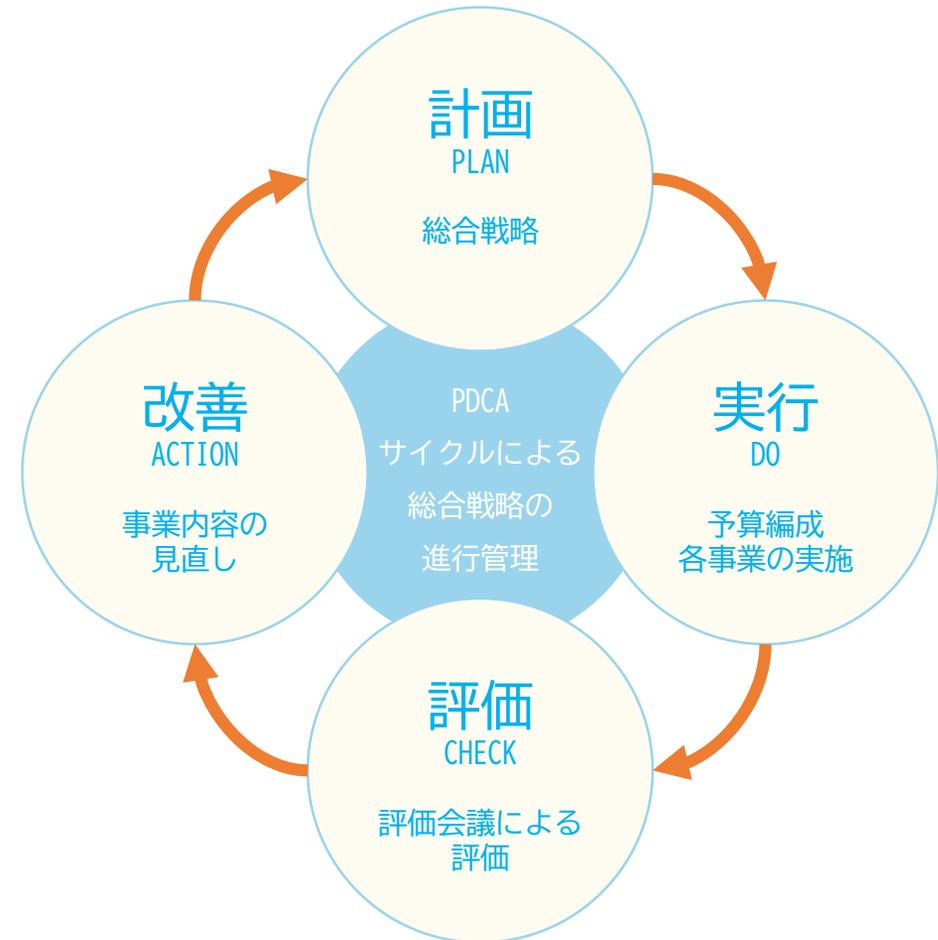
1	「ひたらしさ」を駆使した多極的な取組により地方創生を実現する <ul style="list-style-type: none">「ひたらしさ」を、掘り起こし、磨き上げながら、最大限に活用し、各施策の独自性や優位性を高め、地方創生の実現を目指します。
2	多様な人材の活躍を推進する <ul style="list-style-type: none">多様な人材に焦点を当て、その活躍を推進し、地方創生の更なる推進を図ります。
3	新しい時代の流れを力にする <ul style="list-style-type: none">地域におけるSociety5.0の推進に向け、未来技術の活用による地域課題の解決、地域の魅力向上を目指します。SDGsを原動力とした地方創生の推進を図り、人々が安心して暮らせる持続可能なまちづくりと地域活性化の実現を目指します。

総合戦略の進捗管理

令和元年度に完了した「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の検証等を踏まえて策定した「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2年目となる令和3年度の実績について、関係課から報告を受け、推進状況を取りまとめた。

この結果について、「日立市地域創生本部（市内部に設置）」において確認、共通理解を図るとともに、外部有識者で構成する「日立市地域創生事業評価会議」に報告し、各種施策の実施状況や効果の検証、改善に向けたPDCAサイクルにより、適切な進行管理を図る。

【PDCAサイクルイメージ図】



進捗管理の対象と手順

4つの基本目標ごとに設定した「数値目標」と、それぞれの施策について5年間の取組に対して設定した「重要業績評価指標（Key Performance Indicator、以下「KPI」という。）について、年度ごとの目標値である「期待値」に対する達成状況を4段階に区分した。

達成度が「S」又は「A」となった指標を、おおむね順調に達成しているものと判断した。

※期待値の考え方

計画最終年度（令和6年度）に目標を達成するものとして、基準値から目標値に向けて各年均等に推移した場合における各年の数値を「期待値」として設定した。

達成度	区分	基準（達成率による区分）
S	順調	「実績値」が「期待値」以上 100%以上
A	おおむね順調	「実績値」が「期待値」の70%以上～100%未満
B	改善が必要	「実績値」が「期待値」の70%未満
—	判断保留	年度内に効果検証ができないもの (今後実施する統計調査等で実績値を把握)

数値目標・KPIの設定数

基本目標	数値目標	KPI
稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	1 指標	2 5 指標
新しい人の流れをつくる	1 指標	1 8 指標
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	2 指標	1 6 指標
ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	1 指標	8 指標
合計	5 指標	6 7 指標

数値目標の達成状況

基本目標		項目	基準値	達成率の 算出	R2	R3	R4	R5	R6
			単位 基準年度						
1	稼ぐ地域をつくとともに、 安心して働けるようにする	市内従業者数	88,827	期待値	86,062	83,296	80,531	77,765	75,000
			人	実績値	-	85,724	-	-	-
			H28	達成率	-	102.9%	-	-	-
				達成度	判断保留	S	-	-	-
2	新しい人の流れをつくる	社会増減数	△1,324	期待値	△1,233	△1,142	△1,052	△961	△870
			人/年	実績値	△1,153	△1,306	-	-	-
			R元	達成率	106.5%	85.7%	-	-	-
				達成度	S	A	-	-	-
3	結婚・出産・子育ての希望を かなえる	出生数	909	期待値	927	945	964	982	1,000
			人/年	実績値	921	845	-	-	-
			R元	達成率	99.3%	89.4%	-	-	-
				達成度	A	A	-	-	-
4	20～30代女性人口1,000人 当たりの出生率		64.54	期待値	66.84	69.13	71.43	73.72	76.02
			%	実績値	66.84	63.76	-	-	-
			R元	達成率	100.0%	92.2%	-	-	-
				達成度	S	A	-	-	-
5	ひとが集う、安心して暮らす ことができる魅力的な地域を つくる	市民が住みやすいと思う割合	61.7	期待値	62.4	63.0	63.7	64.3	65.0
			%	実績値	-	63.9	-	-	-
			R元	達成率	-	101.4%	-	-	-
				達成度	判断保留	S	-	-	-

数値目標の達成状況

5つの指標について、2つが達成度「S」（順調）、3つが達成度「A」（おおむね順調）となった。
令和2年度は、判断保留としていた「市内従業者数」、「市民が住みやすいと思う割合」は、いずれも達成度「S」であった。

1 市内従業者数

期待値の83,296人に対して85,724人となり、目標に対する達成率は102.9%となった。

2 社会増減数

期待値の△1,142人に対して、△1,306人となり、達成率は85.7%となった。

3 出生数

前年の921人から76人減少（対前年比約8.3%減）した845人となっており、期待値の945人に対して達成率は89.4%となった。

4 20～30代女性人口1,000人当たりの出生率

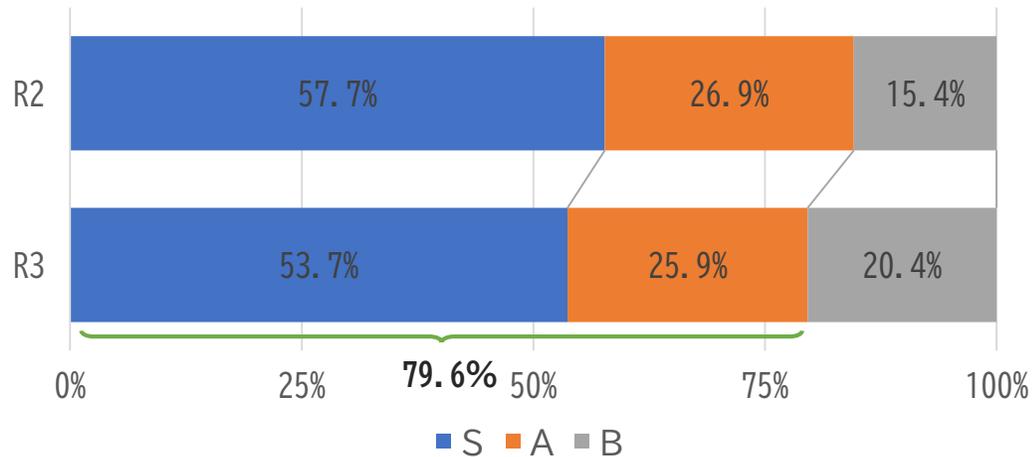
前年の66.84%から3.08ポイント減少（対前年比約4.6%減）の63.76%となっており、期待値の69.13%に対して達成率は92.2%となった。

5 市民が住みやすいと思う割合

期待値の63.0%に対して、63.9%となっており、101.4%の達成率となった。

全KPIの達成状況

達成度	R2		R3		R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
S	30	57.7%	29	53.7%	—	—	—	—	—	—
A	14	26.9%	14	25.9%	—	—	—	—	—	—
B	8	15.4%	11	20.4%	—	—	—	—	—	—
合計	52	100.0%	54	100.0%	—	—	—	—	—	—
判断保留	15		13		—	—	—	—	—	—



全KPIの67指標のうち、54指標（80.6%）について達成状況に応じて区分した。

残りの13指標については、国の統計調査結果や数年に一度実施するアンケート結果等を実績値とするものなどであり、年度中の実績値がないことから、判断保留とした。

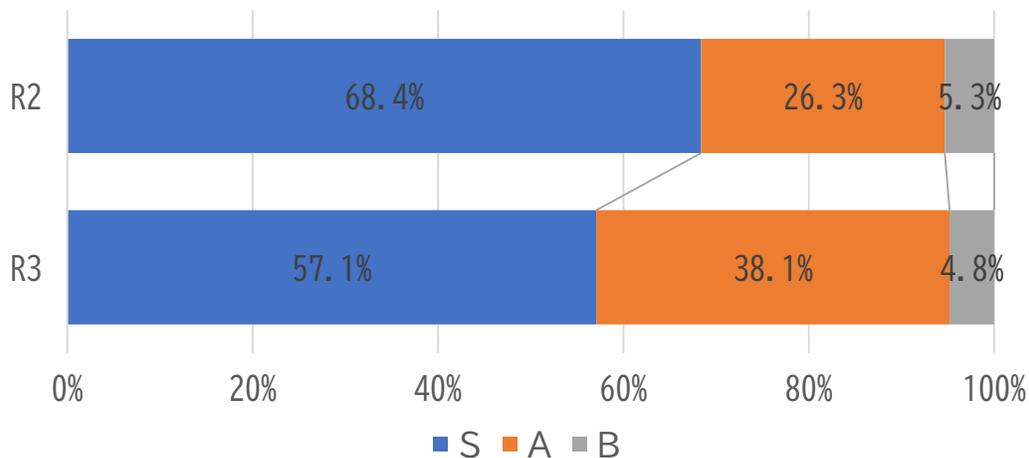
令和3年度の取組については、対象指標のうち、達成度の区分が「S」の指標が29件（53.7%）であり、S及びAの指標が43件（79.6%）となっており、令和2年度と比較して、達成度が「B」（改善が必要）となった指標の割合が増加したものの、おおむね順調に目標を達成していると考えられる。

※年間商品販売額（No.14）、製造業全体の事業所数（No.19）及び卸売・小売業全体の事業所数（No.20）については、実績の基となる統計（商業統計調査及び工業統計調査）が廃止され、算出ができないことから、「判断保留」に分類している。

基本目標別の達成度

【基本目標1】稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする（KPI No.1~No.25）

達成度	R2		R3		R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
S	13	68.4%	12	57.1%	—	—	—	—	—	—
A	5	26.3%	8	38.1%	—	—	—	—	—	—
B	1	5.3%	1	4.8%	—	—	—	—	—	—
合計	19	100.0%	21	100.0%	—	—	—	—	—	—
判断保留	6		4		—	—	—	—	—	—



【達成度が変動した指標】

①判断保留→達成度「A」

- No. 8 第三次産業における女性就業者の割合（「A」）
- No. 9 第二次産業における女性就業者の割合（「A」）
- No. 11 第二次産業における市内就業者数（「A」）

②達成度が上昇した指標

- No. 4 企業誘致件数（「A」→「S」）
- No. 13 日立駅情報交流プラザの売上（「B」→「A」）

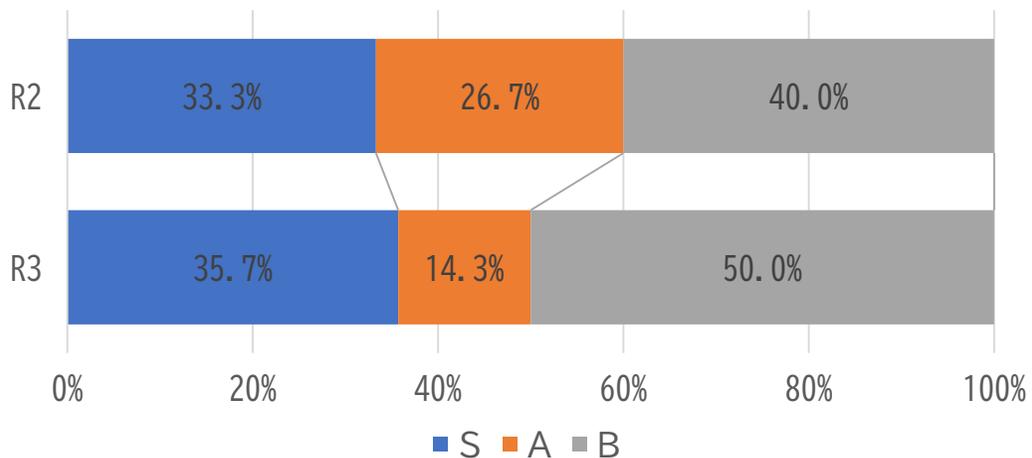
③達成度が下落した指標

- No. 17 認定農業者数（「S」→「A」）
- No. 23 市内の高校卒業生の市内就業率（「A」→「B」）

基本目標別の達成度

【基本目標2】新しい人の流れをつくる (KPI No. 26~No. 43)

達成度	R2		R3		R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
S	5	33.3%	5	35.7%	—	—	—	—	—	—
A	4	26.7%	2	14.3%	—	—	—	—	—	—
B	6	40.0%	7	50.0%	—	—	—	—	—	—
合計	15	100.0%	14	100.0%	—	—	—	—	—	—
判断保留	3		4		—	—	—	—	—	—



【達成度が変動した指標】

①達成度が下落した指標

No. 26 住宅取得等助成事業の利用件数（子育て世帯の住宅着工件数）（「A」→「B」）

※ 国の制度変更の影響を受けて、当該事業の対象要件が変更となったことから、利用件数が減少したものである。

【達成度は変動していないが実績が上昇した指標】

No. 28 既存住宅ストックの再生・活用件数（27件→30件）

No. 30 ひたちBRT沿線良好住宅整備補助件数（0件→1件）

No. 32 山側住宅団地住み替え促進事業の利用件数（20件→23件）

No. 39 中心市街地の公共施設来場者数（47.85万人→61.02万人）

No. 40 観光入込客数（924千人→1,130千人）

基本目標別の達成度

【基本目標3】結婚・出産・子育ての希望をかなえる (KPI No.44~No.59)

達成度	R2		R3		R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
S	9	69.2%	7	53.8%	—	—	—	—	—	—
A	3	23.1%	3	23.1%	—	—	—	—	—	—
B	1	7.7%	3	23.1%	—	—	—	—	—	—
合計	13	100.0%	13	100.0%	—	—	—	—	—	—
判断保留	3		3		—	—	—	—	—	—



【達成度が変動した指標】

①達成度が下落した指標

- No. 51 女性の就業専門資格取得等補助を受けて資格を取得し、就業した人数 (「S」→「B」)
- No. 52 国の認定を受け、働き方改革に取り組む企業数 (「S」→「B」)

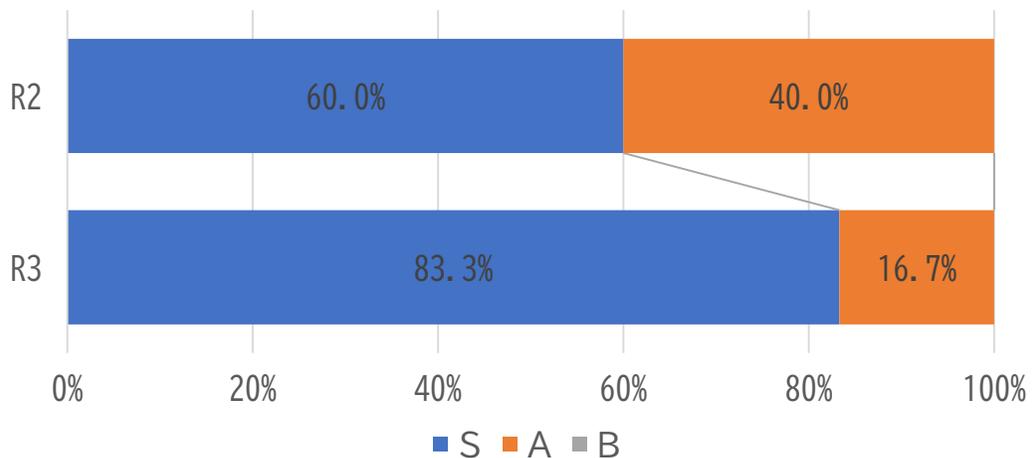
【達成度は変動していないが実績が改善した指標】

- No. 46 市民の市内医療機関における出産割合 (45.9%→50.1%)
- No. 47 第2子以降の出生数 (485人→485人)
- No. 48 市民が妊娠・出産の支援について満足している割合 (85.6%→90.8%)

基本目標別の達成度

【基本目標4】ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる (KPI No. 60~No. 67)

達成度	R2		R3		R4		R5		R6	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
S	3	60.0%	5	83.3%	—	—	—	—	—	—
A	2	40.0%	1	16.7%	—	—	—	—	—	—
B	0	0.0%	0	0.0%	—	—	—	—	—	—
合計	5	100.0%	6	100.0%	—	—	—	—	—	—
判断保留	3		2		—	—	—	—	—	—



【達成度が変動した指標】

①判断保留→「S」又は「A」

No. 64 人口10万人当たりの医師数（「S」）

No. 66 地域活動に参加している人の割合（「A」）

②達成度が上昇した指標

No. 64 国道及び県道の事業中路線の進捗率
（「A」→「S」）

【達成度は変動していないが実績が改善した指標】

No. 61 人口1,000人当たりの刑法犯認知率 (3.436→2.857)

No. 63 要支援・要介護に該当しない平均期間 (男女平均)
(80.30年→80.60年)

数値目標・KPIの達成状況等からの分析・考察（事務局の見解）

○ 市内従業者数（数値目標No.1）

実績値は85,724人となっており、期待値である83,296人を上回った（達成率102.9%：達成度「S」）。

→ コロナウイルス感染症対応に係る事業者支援施策によって中小企業等の倒産件数の減少や雇用の維持が図られたことが影響しているものと思われる。

○ 出生数（数値目標No.3）

実績値は令和2年の921人から76人減少（対前年比約8.3%減）した845人となり、期待値である945人を下回っている（達成率89.4%：達成度「A」）。

→ コロナ禍における男女の出会いの機会の減少、妊娠・出産数の減少の影響が数値として現れてきたものと思われる。

※ 緊急事態宣言の発令等による行動制限が妊娠数の減少に影響を与えていると言われており、令和2年3月以降の行動制限による影響が、約10か月先である令和3年1月以降の出生数の減少に現れたものと思われる。

○ 第2子以降の出生数（KPI No.47）と妊娠・出産の支援の満足度（KPI No.48）

実績値は昨年と同数の485人（達成率86.3%：達成度「A」）となっており、また、妊娠・出産に係る支援における満足度の実績値も90.8%（達成率107.7%：達成度「S」）と、昨年度の実績を上回っている。

→ 本市の子育て支援施策等に対する満足度は上昇しており、その結果として第2子以降の出生数の維持につながっているものと思われる。

○ 達成度が下落したKPIの特徴

達成度が下落したKPIは5つあったが、そのうち3つが、女性や若者の雇用に関連する指標であった。

→ 女性や若者を中心とした雇用のミスマッチの改善、ワークライフや働き方改革に対する意識の更なる浸透を図る必要があるものと思われる。

【参考】達成度が下落したKPI

- ① No.17 認定農業者数（人）
- ② No.23 市内の高校卒業生の市内就業率（%）
- ③ No.26 住宅取得等助成事業の利用件数（子育て世帯の住宅着工件数）（件 / 年度）
- ④ No.51 女性の就業専門資格取得等補助を受けて資格を取得し、就業した人数（人 / 年度）
- ⑤ No.52 国の認定を受け、働き方改革に取り組む企業数（社 / 年度）